

ときがわ通信

東松山自然倶楽部

2017・12

定例観察会実施報告

10月定例 「秋の渡り」

とき 10月21日(土) 雨

ところ 神戸耕地

リーダー 福島功 参加者12名

観察項目 本日のテーマは、「渡り途上の鳥たちを見よう!」です。かつてはコサメビタキやシヨウドウツバメなどが姿を見せ、モズの高鳴きや渡ってきたジョウビタキの鳴き声など、鳥影の濃いコースでした。ここ数年の狙い目はノビタキで、リーダーの下見の実績もあり期待が持てます。ところが…、季節外れの台風! 朝から雨模様で、予報では1日雨。通常観察会は雨天決行で行いますが、鳥見の時は雨だとスコープが使えないため一応どうしようか協議をし、双眼鏡勝負!! ってことで実施することに。でもやっぱり…、そもそも天気悪いと鳥も動かないんですよね。しかたないので、田んぼのスズメの大群の数を数えたりしながら歩いていましたが、



オッ! 電柱の上にノスリ!! エサを狙っているのか、こちらが近づいて行っても安全距離を保ちながら電柱を移動して行くだけで、飛び立つこともなくしばらくじっくりと観察させてくれました。本日の収穫です。ノビタキも実際には姿を見せたのですが、遠かったこともあり、一部の参加者しか確認できなかったのは残念でした。まあこんな日もありますね。

11月定例 「市民の森～秋～」

とき 11月18日(土) 曇り

ところ 東松山市民の森

リーダー 太田俊雄 参加者19名

観察項目 森も秋真っ盛り! 森の木々が赤や黄色や褐色などの服をまとっています。今日は出発前にリーダーから、どのように紅葉が進んでいくのかと参加者に質問を投げかけ…実際に拾ってきたリョウブの葉を色づいて行く順番を考えながら並べる作業をワイワイしながら楽しんだ。観察会も最初のアイスブレイキングのやり方で参加者の期待度驚拵み!!



さて森の中は歩道に落ち葉が敷き詰められてサクサク! 葉っぱはヒラヒラ! 緑や赤の綺麗なグラデーションに心が洗われるよう…言葉はいりません。ただただ五感を使って感じるだけで自然の素晴らしさが分かります。久しぶりに谷



津田に下りていくと秋を終え冬支度を迎える畑や田んぼ。虫たちも姿を消してしまい…と、そこへキタテハが舞っているのを発見! 頑張って冬を越して春に会えるといいなあ～。

定例会案内

* 12月16日(土) 林や池の冬鳥

集合: 東松山市ウォーキングセンター

* 1月20日(土) 冬鳥の観察

集合: 東松山市大岡市民活動センター